

シンポジウム課題

2013/8/22 集会幹事

日時：平成25年9月20日（金）13時～17時

場所：岩手大学上田キャンパス

I. 果実形成研究の最前線（公開シンポジウム）*	会場：G1大, G2大
—園芸作物ゲノム情報の実用品種への活用の現状と未来—	
* 本シンポジウムは、JSPS科研費 2555010の助成を受けたものです。	
コンビーナー：農研機構果樹研 和田雅人	13:15 ～ 13:25
農研機構野菜茶研 今西俊介	
1. ゲノム情報を利用したナス単為結果性の遺伝学的研究	13:25 ～ 13:55
農研機構野菜茶研 宮武宏治	
2. ゲノム情報学を利用したトマトの果実形成に関する包括的研究	13:55 ～ 14:25
筑波大院 有泉 亨・江面 浩	
3. トマト果実の成熟および落花・落果の分子機構解析	14:25 ～ 14:55
農研機構食総研 伊藤康博・藤澤雅樹・嶋 羊子・中野年継	
カゴメ(株)総研 金原淳司・北川麻美子	
休憩	14:55 ～ 15:05
4. 単為結果リンゴ品種の解析	15:05 ～ 15:35
弘前大 田中紀充	
農研機構果樹研 和田雅人	
5. セイヨウナシおよびブドウにおける果実形質解析のためのマルチオミクス解析	15:35 ～ 16:05
名古屋大院 白武勝裕	
6. カンキツ無核性のゲノム解析	16:05 ～ 16:35
農研機構果樹研 清水徳朗	
総合討論	16:35 ～ 17:00
II. 環境ストレスを利用した野菜の高品質・高付加価値化の基礎と現状（公開シンポジウム）	会場：51大
コンビーナー：宮崎大 圖師一文	
1. 環境ストレスによる野菜の高品質化のメカニズムとその可能性	13:00 ～ 13:10
愛媛大 野並 浩	13:10 ～ 13:50
ブエノスアイレス大 Rosa ERRA-BALSELLS	
山梨大クリーンエネルギー研セ 平岡賢三	
2. 植物工場における画像計測および匂い成分計測による環境ストレス診断技術	13:50 ～ 14:30
愛媛大 高山弘太郎	
3. 環境ストレスによる品質の変化を予測するためのネットワーク分析の利用	14:30 ～ 15:10
宮崎大 圖師一文	
休憩	15:10 ～ 15:30
4. 無機栄養ストレスによる野菜の高品質化	15:30 ～ 16:10
三重大院 名田和義	
5. 高糖度トマト周年安定生産を目指した技術開発の現状と課題	16:10 ～ 16:50
—静岡県取り組みを中心に—	
静岡農林技研 大石直記	
総合討論	16:50 ～ 17:10
III. 東日本大震災後の花き園芸産業の復興（公開シンポジウム）	会場：52大
—現状と未来への提言—	
コンビーナー：玉川大 田淵俊人	
1. 東日本大震災後の花き生産者の被災概況と復興のための試験研究	13:00 ～ 13:20
宮城農園総研 鈴木誠一	13:20 ～ 14:00
2. 宮城県本吉地域における花き生産者の被災状況と復興対策の事例	14:00 ～ 14:40
宮城本吉農改善セ 高橋秀典	
3. 宮城県南部における花き生産者の被災状況と復興対策の事例	14:40 ～ 15:20
名取市花き生産組合 三浦智和	
休憩	15:20 ～ 15:40
4. 復興のシンボルとしての花の価値	15:40 ～ 16:20
—津波を受けても生き残った、青森県種差海岸のノハナショウブと地元の人々の心の結びつき—	
弘前大 松本和浩	
総合討論	16:20 ～ 17:00